「ウルトラ音楽の父」冬木透作品による希望の光コンサート　陸上自衛隊第 13 音楽隊演奏会
交響曲「ウルトラコスモ」&交響詩「ウルトラセブン」～盟友に捧ぐ物語～

作曲家冬木透は生まれ育った満州から戦後に母の故郷であった広島に帰国し、広島県立観音高等学校を卒業後に創学まもないエリザベト音楽短期大学（後のエリザベト音楽大学）第 1 期生として学んだ。円谷プロダクションのウルトラセブンから数多くの作品を手掛け、ワンダバに象徴されるウルトラマンシリーズの音楽に大きな影響と足跡を残し、「ウルトラ音楽の父」と呼ばれるようになりました。

冬木 透はウルトラマンシリーズの二つのオーケストラ作品（交響詩「ウルトラセブン」、交響曲「ウルトラコスモ」）を作曲しており、ウルトラのファンをはじめクラシックファンからも音楽的に高い評価を受けています。冬木 透はこの二つの作品を多くの人に愛され演奏される事を願い、愛好者が多い吹奏楽への改編を許可し、吹奏楽版が作られました。また、音楽をより深く理解しやすいようナレーションを付けた形式での演奏を交響曲「ウルトラコスモ」で許可し、2019 年 12 月に ULTRAMAN MUSIC LIVE ～ The Symphony ～で故上原正三が冬木 透へ捧げるために書き下ろしたストーリーを石坂浩二のナレーションで演奏され評判を呼びました。

この度、コロナ感染渦で暗い話題が多い中、困難に打ち勝ち明るい未来へ向けて希望を抱けるよう幅広い年齢層から支持されているウルトラマンシリーズの冬木透作品コンサートを企画しました。演奏は 2018 年に冬木 透から交響詩「ウルトラセブン」（吹奏楽版）で直接指導を受けた陸上自衛隊第 13 音楽隊が務めます。

特別企画として『ウルトラＱ』『ウルトラマン』『ウルトラセブン』などシリーズの脚本や監督を務め、「バルタン星人の生みの親」と言われる飯島敏宏が、このコンサートのために冬木透、故上原正三ほか『ウルトラセブン』の盟友に捧げるために書き下ろした「交響詩ウルトラセブン」のオリジナルナレーションを初披露いたします。また、広島出身の作曲家 藤原典子が編曲した交響曲「ウルトラコスモ」（吹奏楽）を故上原正三が書き下したナレーション付きで初演いたします。　現在、交響曲「ウルトラコスモ」と交響詩「ウルトラセブン」の吹奏楽版の楽譜は販売や貸譜がされておらず、ここでしか聴けない貴重な演奏をお楽しみください。

第 13 音楽隊隊長　石村俊之（指揮）

1987 年 4 月陸上自衛隊入隊。同年 9 月トランペット奏者として第 3 音楽隊（伊丹）配属。2011 年 7 月陸上自衛隊幹部候補生学校を経て幹部に任官、第 3 音楽隊にて音楽班長として勤務。2012 年 3 月中央音楽隊（練馬）所属となり武蔵野音楽大学にて 1 年間研修。以後、中央音楽隊訓練幹部及び演奏幹部、北部方面音楽隊（札幌）音楽班長兼訓練幹部、第 15 音楽隊（那覇）隊長、第 11 音楽隊（札幌）隊長を歴任し、2020 年 3 月第 13 音楽隊長として着任。これまでに、指揮を斉田好男、長瀬清正、作曲法を池田一秀、トランペットを橋爪伴之の各氏に師事。

陸上自衛隊第 13 音楽隊 Japan Ground Self Defense Force 13th Band

第 13 音楽隊は、第 13 旅団管内唯一の音楽専門部隊として、中国 5 県を中心に広報演奏活動を行っている。隊員の士気高揚、自衛隊の儀式のための演奏及び広報のための演奏等を主な任務とし、各市町村等の公共的行事に参加、また学生を対象とした演奏指導を行うなど、地域の皆様に親しまれる音楽隊として幅広く活動している。

田中穂蓄（司会・ナレーション）

1944 年（昭和 19 年）生まれ、1970 年、TOKYO FM 開局以来、35 年間報道取材、制作、アナウンサーとして数多くの番組を担当、特に航空報道、防災担当として航空機事故や災害報道に携わる。現在、航空ジャーナリスト協会理事として、航空報道に携わるとともに、フリーアナウンサーとしても活躍中。また、藤田真弓の夫でもあり、リサイタルなどコンサートのナレーションを担当している。広島市在住。【TOKYO FM アナウンサー時代】　TOKYO FM NEWS、JFN ニュース (JFN)、水平線の彼方から (JFN)、ナイト・トレイン (JFN)、昭和ヒット・ファイル (MUSIC BIRD)　【定年退職後】　J-WAVE GOOD MORNING TOKYO 内 MORNING EYE のコーナーキャスター (J-WAVE)、東京 REMIX 族

冬木　透（作曲家）

1935 年旧満州・新京（現中国東北部・長春）に生まれる。終戦後 1949 年に日本へ引き揚げ広島県山県郡八重町（現北広島町）に住み、広島県八重高等学校普通科（現 千代田高等学校）に入学、高校 3 年から広島県立広島観音高等学校に編入し、1952 年卒業。エリザベト音楽短期大学・作曲科に入学（創学後の第一期生、安部幸朗・市場幸介に師事）。1954 年卒業、その後、宗教音楽専攻科を経て同校の作曲助手に就任。1956 年に上京、ラジオ東京（現 TBS）音響課に入社し、効果の仕事に携わる。1956 年に「鞍馬天狗」にて作曲家としてもデビュー。「冬木透」のペンネームはこの時に名乗るようになった。1957 年国立音楽大学作曲科に編入し高田三郎に師事。1959 年に卒業する。1961 年に TBS を退社し、作曲活動に専念することとともに 1964 年から桐朋学園大学音楽部で教鞭をとり 3,500 人以上の学生を指導し、教授で退官。「鳩子の海」など、テレビ、映画音楽を多数手掛ける。「ウルトラセブン」をはじめとするウルトラシリーズなど、数多くの円谷プロ作品の劇音楽の担当をつとめ「ウルトラ音楽の父」と呼ばれている。また、本名の「蒔田尚昊」名義で、オルガン曲「黙示録による幻想曲」、Fl. と打楽器のための「封印の書」、花と草と風と（第 52 回 NHK 全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲）、合唱曲「黙示録によるモテット」、「碑のねがい」～混声合唱とピアノのために～、賛美歌「ガリラヤの風かおる丘で」、組曲「歳時」（オーケストラ曲）、ノートルダム清心中・高等学校校歌、「ふるさとの詩」（作詞　ヌッコケ三人組作家の那須正幹）などがある。2019 年 5 月には冬木透の音楽世界を 10 枚のＣＤにまとめた「ウルトラ・マエストロ 冬木透 音楽選集」が発売された。日本作曲家協議会会員・日本現代音楽協会会員・日本グレグリオ聖歌学会会員。

上原正三（脚本家）

1937 年那覇市生まれ。中央大学文学部在学中より脚本の執筆を開始。1964 年、シナリオ「収骨」で芸術祭一般公募部門の佳作に入選。1965 年に円谷プロに入社し、翌年『ウルトラＱ』でデビュー。『ウルトラマン』『ウルトラセブン』『怪奇大作戦』などで脚本を担当した後、1969 年にフリーに。『帰ってきたウルトラマン』以降も『秘密戦隊ゴレンジャー』『宇宙刑事ギャバン』のメインライターを務めるなど、数々の特撮番組を手掛ける。著書に『金城哲夫　ウルトラマン島唄』『キジムナー kids』など。2020 年 1 月 2 日、肝臓癌のため死去。

飯島敏宏（監督・脚本家 (脚本家名：千束北男) ）

1932 年東京生まれ。慶應義塾大学文学部英文科卒業後、KRT（現在の TBS）に入社。演出部に所属する。1963 年、円谷英二率いる円谷特技プロダクション (現在の円谷プロダクション）に映画部所属の監督として出向、『ウルトラ Q』の監督を担当する。『ウルトラマン』や『ウルトラセブン』などのウルトラマンシリーズ、『怪奇大作戦』などの脚本と監督を務める。1970 年、木下恵介プロダクションに出向し、会長職を経て、現在はフリー。代表作　映画『怪獣大奮戦　ダイゴロウ対ゴリアス』（72）、『ウルトラマンコスモス　THE FIRST CONTACT』（01）、『ホームカミング』（10）。テレビ　『泣いてたまるか』（66）、『想えば遠くへ来たもんだ』（81）、『金曜日の妻たちへ』（83）。小説　『ギブミー・チョコレート』KADOKAWA

藤原典子（作曲家）

広島市生まれ。ノートルダム清心中・高等学校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科及び同大学院修士課程作曲専攻修了。アカンサス音楽賞、第 9 回東京国際室内楽作曲コンクール第 3 位、第 25 回ＡＣＬ青年作曲賞第 2 位入賞。2006 ～ 08 年文化庁の新進芸術家海外留学制度 2 年派遣研修員として渡英し、英国北王立音楽院を修了。これまでに久留智之、北村昭、南弘明、松下功、Adam Gorb、David Horne の各氏に師事。作品は広島市安芸区民文化センター、広島市西区民文化センター、アンサンブル・ジェネシス、ノイエ・ムジカ東京、ヒロシマ音楽プロジェクト 70 等から委嘱され、各地で演奏されている。邦楽器のための編曲作品は 2014 ～ 16 年、雑誌「邦楽ジャーナル」に掲載された。日本作曲家協議会会員。

佐藤誠一（作曲家）

武蔵野音楽大学作曲科、同大学大学院作曲専攻修了。在学中より倉本 聡 作・演出「今日、悲別で」、蜷川幸雄演出「ペール・ギュント」（音楽：宇崎竜童）の作曲・編曲を担当するなど音楽活動を始め、テレビ、舞台、ゲーム、ドキュメンタリー映像の音楽などを多数手がける。純音楽では、吹奏楽、フルートオーケストラ、電子楽器アンサンブル、室内楽などの他、小・中学生のための合唱曲を多数発表、著書に「DTM 打ち込み ストリングス師匠」（共著）がある。現在、武蔵野音楽大学専任講師、日本作編曲家協会（JCAA）会員。

交響曲「ウルトラコスモ」

交響曲ウルトラコスモは 1993 年 7 月にサントリーホールで円谷プロ 30 周年記念として開催された「ウルトラマン　シンフォニー・コンサート」で指揮　山下一史、演奏　東京交響楽団で初演された。コンサートは 3 部形式で開催され、第 2 部のウルトラマン大全集として組まれた構成の中で、ウルトラマンからウルトラマン 80 までの主題歌や劇中テーマ音楽をモチーフにしたオリジナルシンフォニー作品として生まれた。

作曲家冬木透は、ウルトラマンシリーズの創作で大きな存在と影響力があり 41 歳で早世した円谷一（2 代目円谷プロダクション社長、監督、脚本家、作詞家）に捧げる曲として作曲した。冬木透は自作のもう一つのシンフォニー作品である交響詩「ウルトラセブン」の方がウルトラマンシリーズのファン達からの受けが良いが、交響曲「ウルトラコスモ」ではウルトラマンシリーズの劇中音楽はそのままでは使用されておらず、音楽でオリジナルストーリーを表現しており、音楽的に面白い作品だと語っている。第 2 楽章では大きな愛が「ウルトラの父」、「ウルトラの母」のバラードとして、トランペットで朗々と響き聴かせ、全楽章にわたり至る所で楽器のソロ演奏が出てくるなど、演奏者には嬉しい緊張感をもたらす作品である。原曲は 4 楽章だが、吹奏楽版は演奏しやすいよう 5 楽章で編曲された。

交響詩「ウルトラセブン」

交響詩「ウルトラセブン」はウルトラセブンの放送開始 12 年後の 1979 年に LP レコードの企画アルバムとしてウルトラセブンに使われた曲を選曲し、5 楽章の交響詩として楽器の編成を大きくフル編成のオーケストラに再構築し、交響詩「ウルトラマン」とのカップリングで発売された。冬木透の誕生日 2009 年 3 月 14 日には、冬木透 初の指揮により東京交響楽団のフルオーケストラで、交響曲ウルトラコスモと共に演奏され、その後に CD や DVD 化された。

ウルトラセブンは 1967 年 10 月 1 日から 1968 年 9 月 8 日までウルトラ Q、ウルトラマンに続く円谷プロダクションの特撮ドラマとして全 49 話が放送された。ウルトラセブンは当時の様々な社会問題にも触れ、大人が見ても楽しめるドラマとなっている。放送後は何度も再放送され、2020 年 9 月から 4K リマスター版が NHK で放送されるなど今なお人気があり特撮ドラマの最高傑作のひとつと言われている。ウルトラセブンの音楽は、「宇宙の広がりというのは、テレビのフレームでは表現できないから、音楽で表現してほしい。子どもの耳にためになる壮大な音楽を作れ」と監督の円谷一（はじめ）の注文を作曲家冬木透が受けて、キャラクターに特定の楽器を当てるなど※ライトモティーフされており、クラシックの技法を用いて子どもの音楽性が育つよう和声感覚を重視した曲が作曲された。

交響詩「ウルトラセブン」吹奏楽版は広島市文化財団の委嘱によって作曲家佐藤誠一が編曲し、2014 年 9 月 14 日に広島ウインドオーケストラによって初演された。　（文：東区民文化センター　山本真治）

※ライトモティーフ、独：Leitmotiv

リヒャルト・ワーグナーのオペラにみられる作曲法。指導動機と呼ばれ、オペラの登場人物や場面に用いられる短い動機（モティーフ）で、繰り返し曲の中で使われ、人物や状況を暗示するもので、単純な繰り返しではなく、和声変化や対旋律として加えるなどして、音楽的な統一を図っている。

【ご来場のお客様へのお願い】
- ●マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。
- ●新型コロナウイルス感染症の関連でコンサートの中止や延期する場合があります。
- ●公演のご参加にあたり、氏名や連絡先を確認いたします。新型コロナウイルス感染症の感染発生が疑われる場合には、これらの情報が保健所等の公的機関へ提供されることがあります。
- ●未就学児のお子様のご入場はお断りしております。※新型コロナウイルス感染症予防のため、三密になるホール親子室の利用はできません。

【入場制限】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下に該当するお客様のご来場はお控えください。
- ●37.5度の発熱や風邪症状があるお客様（入場時に検温いたします）咳、倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ●新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触があるお客様
- ●過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触があるお客様

広島県の新型コロナ感染症拡大防止のための対処方針に沿った入場定員で開催します。　※入場制限等変更がある場合はホームページに掲載させていただきます。